◇　◇　第二種研究会発表募集案内　◇　◇

●第 17 回ネットワークソフトウェア研究会

委員長　末田欣子（明星大）
期日　2018 年 10 月 18 日（木），19 日（金）
会場　香川県（IN 研究会との併催）（予定）
　会場が決定しましたら，ウェブページに掲載します．　http://www.ieice.org/cs/ns/nws/17/announce/
テーマ　次世代モビリティサービス実現のためのネットワークソフトウェア＋一般
研究会の内容
　ネットワークシステム研専配下の第二種研究会であり，ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや，ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち，ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について議論をします．本研究会では，企業・大学における研究・教育上の課題のみならず，製品開発や保守運用上の課題など，研究から実用化までを通した幅広い課題を対象として解決法を探ります．
概要
　5G の実現により，大容量，低遅延なネットワークを用いた高度な IoT サービス等が出現されていきます．特に，Connected Car や自動運転，MaaS（Mobility as a Service）といった新たなモビリティサービスの出現により，今までにないネットワークへの要求条件が必要とされてくるため，ネットワークソフトウェア技術の重要性は，更に増してくるものと想定されます．本研究会では，このような次世代の通信を実現するための要素技術，アーキテクチャ等について，幅広く研究課題や研究アプローチに関する発表を募り，議論を行います．
本研究会の特徴
　参加者の産学のバランスがよく，更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので，発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます．また，他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので，発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます．これにより，検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます．また，本研究会では，議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています．有意義なディスカッションを頂きました参加者が受賞対象となります．是非活発な議論をお願い致します．
【発表形式】　下記 2 種類の発表形式からお選び下さい．
・一般講演：掘り下げた議論を御希望の方向け
　1 件あたり標準で 50 分．発表者からのプレゼンテーションは 20〜25 分以内とし，残りの時間を質疑応答に割り当てることで，深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります．
・ポジションペーパ：構想段階等にて意見を収集したい方向け
　1 件あたり約 5〜15 分程度で，一般講演するほどの内容ではないが，是非意見交換をしたい内容などについて，発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます．
【各種締切】

一般講演申込	9 月 14 日（金）
ポジションペーパ講演申込	9 月 21 日（金）
研究会参加申込	9 月 21 日（金）
原稿提出	9 月 21 日（金）
参加費振込	10 月 11 日（木）
参加費（予定）	一般　7,000 円，学生　3,000 円

【申込・原稿提出方法】　下記ウェブページを参照下さい．
　http://www.ieice.org/cs/ns/nws/17/announce/
【申込・原稿提出先】
　郡川智洋（NTT）
　〒180-8585　武蔵野市緑町 3-9-11
　TEL〔0422〕59-6314
　E-mail：ns-nws-secretariat@mail.ieice.org
【研究会全般に関する問合先】
　四七秀貴（NTT）
　TEL〔0422〕59-6072
主催　ネットワークシステム研究専門委員会ネットワークソフトウェア研究会運営委員会（http://www.ieice.org/~nws/）

●第 67 回機能集積情報システム研究会

委員長　福士　将（山口大）　　副委員長　金子晴彦（東工大）
期日　2018 年 10 月 26 日（金）
会場　名古屋大学（詳細は https://www.ieice.org/~fiis/を御覧下さい.）

本研究会は，ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します．本研究会は，平成 3 年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降，複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました．

近年の LSI 製造技術の進歩により，大規模かつ斬新な情報処理機能を，シリコン・ウェーハや VLSI，3D IC（three-dimensional integrated circuit）上に集積・実装する情報システム FIIS（Functional Integrated Information System）の構築技術が注目されています．本研究会では，次に示す FIIS 構築に関する幅広い研究分野を対象としています．

・情報システム設計に関する技術：誤り訂正・回復技術，SoC（System-on-Chip）や NoC（Network-on-Chip）などの耐故障・再構成可能システムの構築技術，低消費電力技術，機械学習を用いた情報システム設計法，近似・確率計算を用いたシステム設計法
・LSI 製造に関する技術：LSI 故障・欠陥検出法（テスト手法，テスト容易化設計法），チップの歩留まり解析，歩留まり向上設計法，レイアウト設計・解析手法，故障モデルの解析，信頼度解析，性能評価などの理論的解析手法

本機能集積情報システム（FIIS）研究会は，上述したような技術を，応用分野の枠を超えた高性能・高信頼・低消費電力な機能集積情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています．本研究会では上記内容を中心としていますが，それらにとらわれず，各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します．

次回の第 67 回機能集積情報システム研究会では下記要領で一般発表を募集致しますので，多数の申し込みをお待ちしております．

【一般申込締切日】 8 月 10 日（金）

発表を希望される方は，論文題目，著者，所属，連絡先，発表予定者を下記幹事までお知らせ下さい．

【申込・問合先】
市原英行（広島市大大学院情報科学研究科）
E-mail：ichihara@hiroshima-cu.ac.jp
主催　ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

●第 39 回量子情報技術研究会（QIT39）

委員長　竹内繁樹（京大）
研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野，量子情報科学に関する研究会です．情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に活かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して，情報科学，物理学，光エレクトロニクスを含む理学，工学，数理科学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し，この研究分野の発展を図ることを目的としています．

第 39 回研究会を下記のように開催致します．現在この分野で活躍する研究者は勿論，自分の研究資産が何らかの形で使えそうだと予感している研究者・技術者など，広く関連する分野の研究者・技術者からの発表を募集致します．聴講のみの参加も歓迎致しますので，奮ってお申し込み下さい．なお前回の研究会から学生発表賞を創設致しました．応募方法等詳細は下記 QIT ウェブサイトを御確認下さい．

期日　2018 年 11 月 26 日（月），27 日（火）
会場　東京大学先端科学技術研究センター ENEOS ホール（目黒区駒場 4-6-1）
発表募集分野（申込み状況によっては査読の可能性あり）

量子情報，量子計算，量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究，実験的研究，計算機科学的研究，数学的研究，及びその他関連分野

定　員：150 名
参加費：事前振込み　一般 4,000 円，学生 3,000 円
当日会場払い　一般 5,000 円，学生 4,000 円
（懇親会は別途）
研究会参加申込要領：参加申込は下記 Web にて受付けます．
http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/

講演（口頭，ポスター）の申込，予稿集原稿 PDF の提出は，電子情報通信学会の Web システムを使用する予定．

【申込締切】

口頭講演　　10 月 12 日（金）
ポスター講演　10 月 26 日（金）
予稿原稿提出　10 月 26 日（金）
参加申込締切　11 月 9 日（金）

【問合先】

中村泰信（東大先端科学技術研究センター）
山本直樹・鹿野　豊（慶大量子コンピューティングセンター）
E-mail：qit39@qc.rcast.u-tokyo.ac.jp

主催　量子情報技術特別研究専門委員会
共催　応用物理学会；量子エレクトロニクス研究会